

2024(令和6)年度・報告

地域の障害児に対する支援体制の状況及び中核機能としての体制の確保に関する取組の実施状況

社会福祉法人侑愛会
つくしんぼ学級

社会福祉法人侑愛会つくしんぼ学級（児童発達支援センター）は、地域障害児支援体制中核拠点として、令和6年度は、以下の活動に取り組みました。

■地域の障害児に対する支援体制の状況（4つの中核機能）

①幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能

- 児童発達支援事業（つくしんぼ学級）
- 保育所等訪問支援事業（つくしんぼ学級）
- 市町村こども発達支援事業【こども発達支援センター】（つくしんぼ学級）
※北斗市・函館市・七飯町からの委託事業

②地域の障害児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能

- 自立支援協議会（つくしんぼ学級職員がメンバーになっている）
- 放課後等デイサービス事業所連絡会事務局

③地域のインクルージョン推進の中核機能

- 保育所等訪問支援事業（つくしんぼ学級）

④地域の発達支援に関する入口としての相談機能

- 障害児相談支援事業【相談室つくしんぼ】（つくしんぼ学級）
- 市町村こども発達支援事業【こども発達支援センター】（つくしんぼ学級）
※北斗市・函館市・七飯町からの委託事業

つくしんぼ学級が行う事業	<ul style="list-style-type: none">●児童発達支援事業●保育所等訪問支援事業●障害児相談支援事業●市町村こども発達支援事業●函館市障害児等発達支援事業●障がい児等支援体制整備事業
--------------	--

■中核機能としての体制の確保に関する取組

(1) 市町村及び地域の関係機関との連携体制

①函館地域障害者自立支援協議会への参加

- ・函館地域障害者自立支援協議会担当者会議（こども部会）… 6回
- ・函館地域障害者自立支援協議会代表者会議（こども部会）… 1回
- ・医療的ケアワーキンググループ… 6回
- ・放課後等デイサービス事業所連絡会の事務局として、2市1町放課後等デイサービス事業所連絡会の研修会を3回開催した。（延べ298名の参加）

②函館地域発達支援コーディネーター連絡会への参加

- ・函館市、北斗市、七飯町の認定こども園等の職員研修会を3回開催した。
- ・発達支援コーディネーター養成研修をあいそらの片山氏を講師として、全4回開催した。

③2市1町の児童発達支援センター会議への参加

- ・会議を1回開催した。（令和7年3月）
- ・参加事業所は、函館市〔はこだて療育・自立支援センター はぐみ〕〔児童発達支援センター うみのほし〕、七飯町〔にじのはし〕〔にじのおと〕、北斗市〔つくしんぼ学級〕

(2) 幅広い発達段階及び多様な障害特性に応じた専門的な発達支援及び家族支援を提供する体制

■児童発達支援事業

1. 利用児の状況（クラス編成、障害・病名）（2025年3月31日現在）

- ・在籍児40名（男児29名／女児11名）
- ・1クラスの園児数を10名として4クラスで編成し、1クラスに職員を4～5名配置した。
- ・医療的ケア児が在籍しているクラスに、看護師を配置した。

●年齢構成

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	男女別計	合計
男		2	10	10	7	29	40
女	1			4	6	11	

●障害名・病名等

主となる障害・病名	重複する障害・病名	未診断
<ul style="list-style-type: none"> ・自閉症:26名 ・ダウン症:1名 ・知的障がい:1名 ・先天性水頭症:1名 ・コルネリアデランゲ症候群:1名 ・ヌーナン症候群:1名 	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障がい:13名 ・発達遅延:2名 ・言語発達遅滞:1名 ・精神発達遅滞:5名 ・運動発達遅滞:3名 ・協調運動障害:1名 ・6番染色体長腕端部欠失症候群:1名 ・てんかん:4名 ・内臓逆位:1名 ・難聴:1名 	9名

2. 利用状況について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
開所日数	21	23	22	23	19	21	24	21	21	21	20	17	253
延べ利用人数	735	808	768	803	656	757	813	728	729	669	698	583	8747

3. 支援提供の状況（時間・食事）

曜日	時間	給食の提供
月・火・水・木・金	9:45 ~ 13:50	あり
土（月2回程度）	9:45 ~ 12:00	なし（おやつの提供あり）

4. 職員体制

職 種	人 数	保有資格（重複あり）
園 長	1人	幼稚園教諭 9人
児童発達支援管理責任者	1人	保育士 15人
支 援 員	15人	特別支援学校教諭 3人
保 育 士	12人	小学校教諭 2人
看 護 師	1人	中学校教諭 3人
相 談 員	5人	高等学校教諭 1人
調 理 員	1人	精神保健福祉士 1人
医師（嘱託）	1人	社会福祉士 6人
バス運転手	2人	介護福祉士 2人
事 務 員	1人	言語聴覚士 1人
合 計	40人	児童福祉施設児童指導員 1人
		看護師 1人
		調理師 2人

5. 地域支援・地域連携

●地域の機関との連携

○地域の保健福祉機関	・【保健師】家族の思いや状態、さらに園児の成育歴等についての情報を持っており、つくしんぼ学級入園のための見学の同行や、入園後に様子を見に来ていただきお互いに情報提供をしながら連携できた。
○児童発達支援事業所	・入園前に利用していた児童発達支援事業所から情報提供してもらい、新入園児の引き継ぎを行った。 ・児童発達支援事業所連絡会に参加して、情報を共有することができた。
○放課後等 デイサービス事業所	・卒園後に利用する放課後等デイサービス事業所に情報提供をして、可能であれば在園中に園での様子を見に来ていただき、引き継ぎを行うことができた。

●学校教育との連携

・年長児は入学前に引き継ぎを行う機会を持った。遠方の学校以外は、つくしんぼ学級職員と直接対面で、引き継ぎを行うことができた。札幌養護学校には、書類を送付して引き継ぎを行った。

■卒園後の進路（2024（令和6）年度の卒園児の状況）

学 校	特別支援学校	9名	函館養護学校：1名 七飯養護学校：6名 北海道教育大学附属特別支援学校：1名 札幌養護学校：1名[ノビロ学園(札幌)に入所]	
	小 学 校	通常学級	1名	函館市立港小学校
		特別支援学級	3名	函館市立桔梗小学校：1名 函館市立万年橋小学校：1名 北斗市立上磯小学校：1名
	幼稚園	1名	ゆうあい幼稚園：1名(2025(令和7)年度：年中児)	
児童発達支援センター		1名	児童発達支援センターうみのほし：1名(2025(令和7)年度：年長児)	
計		15名		

■保育所等訪問支援事業

1. 利用児状況（2025年3月31日現在）

・利用児の契約児数・支援回数については、以下の通りである。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
契約児数	12	15	17	20	22	23	26	25	26	28	28	28	28
支援延べ回数	9	18	20	22	23	24	26	27	23	28	28	29	277

2. 利用地域・機関の状況（2025年3月31日現在）

市町	保育園・保育所・認定こども園	小学校	計
函館市	8園	3校	11か所
北斗市	3園		3か所
木古内町	1園	1校	2か所
森町	3園		3か所
計	15園	4校	19か所

(3) 地域の障害児通所支援事業所との連携体制

●2市1町放課後等デイサービス事業所連絡会研修会

・函館地域障害者自立支援協議会（こども部会）として、放課後等デイサービス事業所連絡会の事務局として3回開催し、延べ298名の参加があった。

●児童発達支援事業所での職員研修会 1回（職員2名派遣）

●専門支援事業への派遣

・北海道の事業である障がい児等支援体制整備事業・専門支援事業で、要請がある市町に専門職を派遣している。そこで、1市12町からの要望に対して、法人の8事業所の派遣希望や日程に関する調整を行い、下記の通りに実施した。

事業所	職種と職員数	派遣市町（延べ回数）
ワークセンターほくと	発達支援専門員1名	厚沢部町(1) 松前町(1)
七重浜こども園	発達支援専門員1名	北斗市(2) 知内町(1)
浜分こども園	発達支援専門員1名 作業療法士1名	八雲町(1) 知内町(1) 北斗市(2)
ゆうあい幼稚園	発達支援専門員1名	長万部町(2) 厚沢部町(1)
ワークショップはこだて	発達支援専門員1名	今金町(1) せたな町(2) 松前町(1)
ねお・はろう	発達支援専門員1名	長万部町(1)
ゆうあい会石川診療所	医師1名 心理士1名 理学療法士2名 作業療法士2名 言語聴覚士3名	奥尻町(1) 上ノ国町(2) せたな町(2) 松前町(3) 知内町(1) 八雲町(2) 森町(2) 厚沢部町(3) 北斗市(12) 七飯町(4) 今金町(1) 長万部町(1)
つくしんぼ学級 こども発達支援センター	言語聴覚士1名 発達支援専門員2名	八雲町(1) 知内町(1) 松前町(2) 上ノ国町(4) 厚沢部町(1) 鹿部町(2)

本事業に関する職種は北海道の基準により、保育士、支援員を「発達支援専門員」と称している。

(4) インクルージョンの推進体制

●保育所等訪問支援事業を実施している。

※(2)幅広い発達段階及び多様な障害特性に応じた専門的な発達支援及び家族支援を提供する体制の

■保育所等訪問支援事業 を参照。

(5) 入口としての相談機能を果たす体制

■障害児相談支援事業

●障害児相談支援事業を実施している。

・契約者数は、255件である。その内訳は、障害者：28件、障害児：227件である。

◎サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成、モニタリングの状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
計画作成	82	14	18	8	18	19	18	19	19	22	26	14	277
モニタリング	5	13	12	17	4	4	6	5	4	7	2	1	80
集中支援加算							1	1					2

■こども発達支援センター

①相談（来所・園・市町相談会）

■市町が開催する相談会や園での家族相談および来所相談の実績

地域別	函館市	北斗市	七飯町	計
実数	125	52	30	207
延べ件数	146	54	37	237

②訪問支援（認定こども園・保育園・幼稚園）

・函館市は、令和6年度より、函館市障害児等発達支援事業へ移行したことから、小学校1校、児童発達支援センター1件、学童クラブ1件の訪問も含む。

・各園において、発達が気になる児童が多く在籍している状況にあり、支援の要請があると園に出向き、児童の発達の評価や園での支援について協議した。

<利用児童>

地域別	函館市	北斗市	七飯町	計
実数	212	19	23	254
延べ件数	345	19	27	391

③遊びの教室（通称ぼっかぽか）

・発達が心配な児童へ遊びの場を提供し、ご家族へお子さんへの関わり方などを提案する定期的な支援を行う。療育が必要な場合には児童発達支援の利用につなぐ役割も持つ。

地域別	実数	延べ件数
函館市	10	46
北斗市	1	2
七飯町	5	28
計	16	76

進路

児童発達支援事業所	6
児童発達支援センター	2
継続	6
転居	2

④学習会・研修会の実施（函館市・7件）

●早期からの家族支援を目的に、子育てサロンの母親学習会を継続開催。

・テーマ：「こどものことばと子育ての工夫」 ・開催場所：3か所(子育てサロン)

●園からの依頼で、こども園等の職員を対象に、園内職員研修会を開催。

・テーマ：「気になる子への対応について」 ・開催場所：2か所[4回開催](幼稚園・認定こども園)

⑤発達支援体制コーディネート

3歳児健診	・七飯町の3歳児健診に6回参加し、年間15名の言語相談に応じた。
5歳児健診	・七飯町の5歳児健診にて、希望者に対し子どもの簡易的な発達評価や保護者へのアドバイスなど発達相談に応じる。こども発達支援センタースタッフが3回参加した。各回の報償費が、市町から各事業所に支払われている。

(6) 第三者評価の実施

- ・第三者評価を、榎原永都子氏に運営アドバイザーをお願いして、つくしんぼ学級の児童発達支援事業・保育所等訪問支援事業について評価を得た。
- ・令和7年3月24日(月)に園長・課長補佐(児童発達支援管理責任者)・こども発達支援センター職員(保育所等訪問支援担当)が同席して、自己評価会議を開催した。事前に実施したアンケートをもとに、保護者等からの事業所評価の集計結果、事業所における自己評価結果・総括表、訪問先施設からの事業所評価の集計結果(保育所等訪問支援のみ)を渡して、発達支援の内容についての他、インクルーシブの視点、業務の効率化、管理職と職員との関係性の構築についてアドバイスを得た。

(7) 職員研修

- 事業所内学習会 ・おひさま(児童発達支援事業所)の職員とも合同で学習会を行う機会を持った。

日にち	内容
4月 1日(月)	職員会議にて ●リスクマネジメントマニュアルの確認と感染症への対応 ●虐待防止と合理的配慮「不適切な対応だったのではないかと職員が感じた対応」について
5月22日(水)	第1回 諏訪先生コンサルテーション ●「活動予定の伝え方(スケジュールの活用)について」
6月 4日(火) 5日(水)	学習会1「リズム運動について」 ・さくら・さくらんぼのリズム遊びの意義・ねらい・指導法 ・ピアノを弾いて、リズム運動の実践
7月16日(火)	学習会「PEP-3に関して」 ・PEP-3の検査法をみんなで学ぶ
8月27日(火)	第2回 諏訪先生コンサルテーション ●「PEP-3検査と、その結果から得られる情報について」 ●「遊びや設定活動のねらいと進め方について」
9月24日(火) 26日(木)	学習会2「支援に関する学習会」 (1) スケジュール・ワーク(アクティビティ)システムの考え方 (2) 児童発達支援ガイドライン(令和6年改訂)について
11月19日(火) 20日(水)	学習会「研修報告会」 (1) 令和6年度 自閉症講座WEB研修基礎コース実践発表 (2) 「母子支援力強化研修」の報告
12月10日(火) 17日(火)	学習会4「クラス訪問」 ・各クラスの各エリアの使い方の紹介
1月 9日(木) 10日(金)	学習会5「虐待についての研修報告会」 (1) 令和6年度 権利擁護・虐待防止責任者連絡協議会 研修報告 (2) 身体拘束等の適正化のための指針の説明
2月26日(水)	第3回 諏訪先生コンサルテーション ●「自立課題の目的と環境設定・支援の方法」